

松戸保健所管内感染症情報

Vol. 7

発行／松戸保健所（松戸健康福祉センター） 疾病対策課
発行日：2026年2月20日

2026年第6週 2026.2/2～2/8
2026年第7週 2026.2/9～2/15

保健所からのお知らせ

- ▶2026年第7週に県内医療機関から**麻しんの届出が2例**あり、本年の累計は5例となりました
- ▶管内施設における**感染性胃腸炎、インフルエンザB型**の集団発生報告数が多い状況です。
引き続き感染対策の徹底をお願いします。

【全数把握対象疾患】 保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	(2026年第6週・第7週)		(2026年累計第1週～第7週)	
2類感染症	結核	5	1	3
4類感染症	レジオネラ症	1		3
5類感染症	アメーバ赤痢	1		2
	急性脳炎	1		6
	後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		2
	百日咳	2		6

【定点把握対象疾患】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値） 前週比： ↓減少 →横ばい ↑増加

	疾病名	前週比	第7週	第6週
小児科 定点	RSウイルス感染症	↓	1 0.09	7 0.64
	咽頭結膜熱	→	-	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	60 5.45	76 6.91
	感染性胃腸炎	↓	146 13.27	167 15.18
	水痘	↓	2 0.18	5 0.45
	手足口病	→	-	-
	伝染性紅斑	→	-	-
	突発性発疹	↓	1 0.09	8 0.73
	ヘルパンギーナ	→	-	-

	疾病名	前週比	第7週	第6週
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	↓	1465 73.25	1656 82.8
	新型コロナウイルス感染症	↓	54 2.7	87 4.35
	急性呼吸器感染症(ARI)※	↓	3397 169.85	3883 194.15
眼科	急性出血性結膜炎	→	-	-
	流行性角結膜炎	↓	-	1 0.2

※急性呼吸器感染症（ARI）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、
発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】

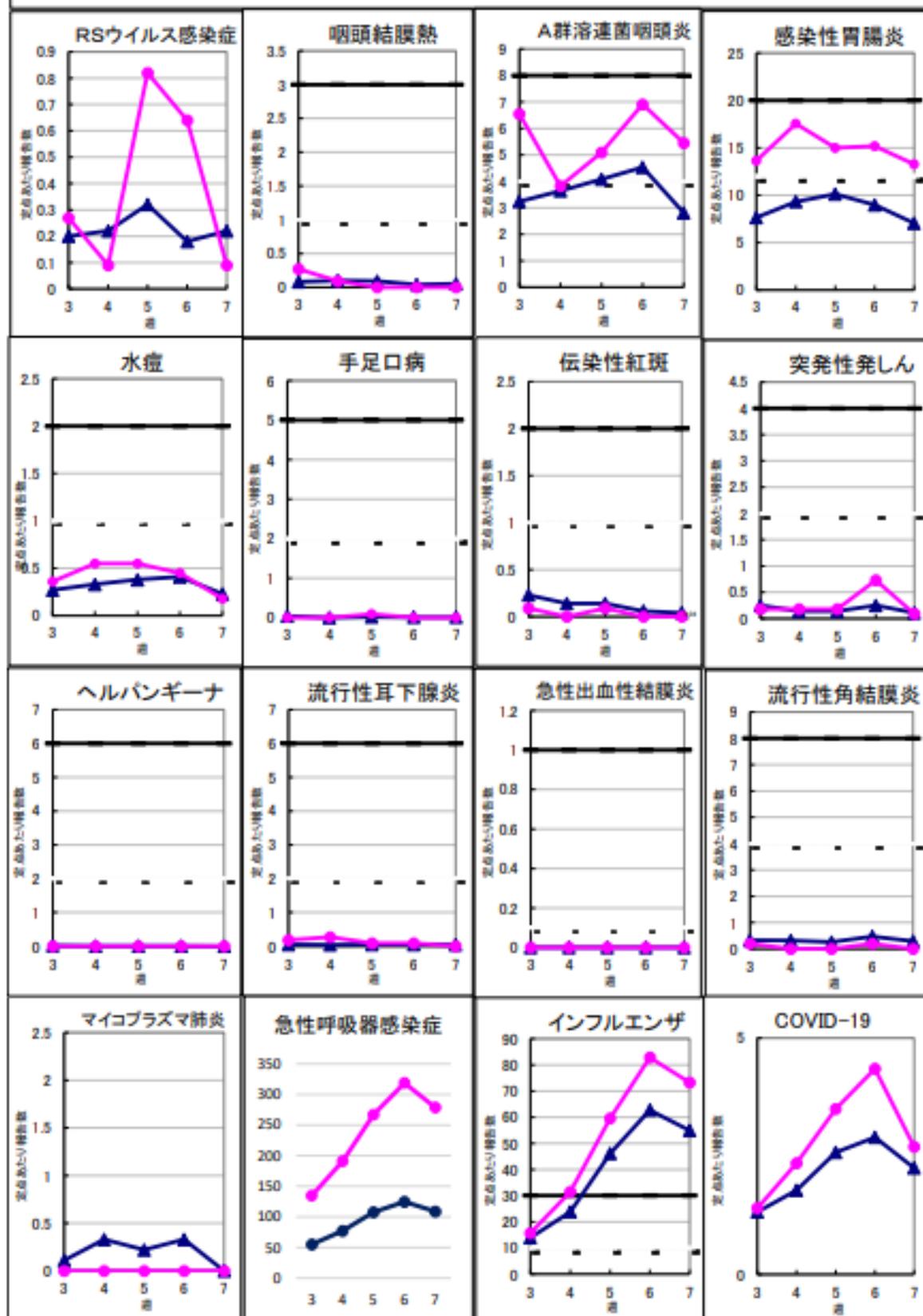
活動性結核	報告数
喀痰塗抹陽性	0
その他の結核菌陽性	0
菌陰性その他	0
活動性肺外結核	1
無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症)	2

【集団感染発生状況】

疾患名	報告数
インフルエンザ (B型 A・B混合)	保育施設 20
感染性胃腸炎	保育施設 5
	高齢者施設 7
新型コロナウイルス 感染症	高齢者施設 2
	医療機関 5

松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

● 松戸保健所管内 ▲ 千葉県全体 — 警報基準値 - - - 終息基準値



1.麻しん

～発生状況～

・千葉県では2026年第7週に県内医療機関から2例の届出があり、本年の累計は5例となりました。

・全国では、第6週に9例の届出があり、累計は32例となりました。

全国においても、海外からの輸入症例が増加している一方で、海外渡航歴のない症例も報告されていることから、引き続き発生動向に注意が必要です。

出典:千葉県衛生研究所発行 千葉県結核・感染症週報 第7週

麻しんは非常に感染力が強い感染症です。

▶職員の麻しん含有ワクチン接種歴について確認しましょう

▶海外渡航の予定がある場合は、渡航先の麻しんの流行状況を確認しましょう

▶麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合やご自身の免疫が不十分なことが判明した方は麻しん含有ワクチンの接種を検討しましょう

▶麻しんの流行がみられる地域に渡航後は、帰国後2週間程度麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意しましょう

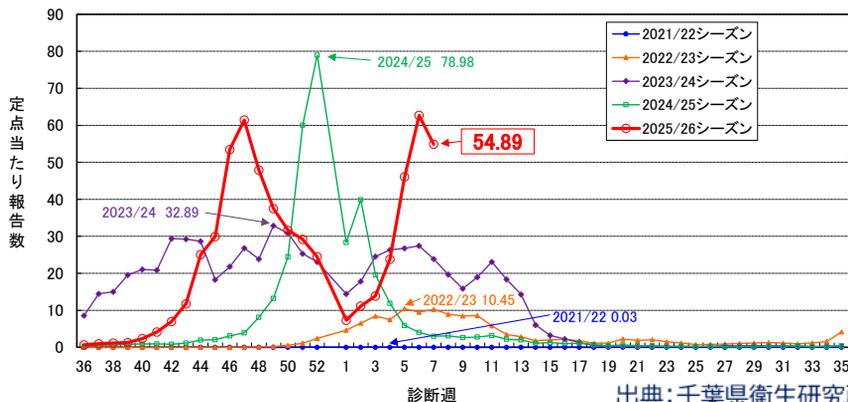
麻しんの発生増加に伴い、厚生労働省令和8年2月13日付けで厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課および予防接種課から事務連絡がありました。

事務連絡については、令和8年2月18日 松戸保健所感染症情報臨時号でも配信しておりますのでご確認ください。

2.インフルエンザ

2026年第7週における定点当たり報告数は、54.89(人)となり、前週より減少したものの、依然報告数が多い状況にあるため、引き続き注意が必要です。

図2: 千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



出典:千葉県衛生研究所発行 千葉県結核・感染症週報 第7週

咳エチケットできてますか？

インフルエンザをはじめとする急性呼吸器感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳(せき)エチケット」などが有効です。急性呼吸器感染症の中には、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化する可能性があるものもあります。高齢者や基礎疾患のある方と会ったり、通院したり、大人数で集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策へのご協力をお願いします。

<マスクの着用が効果的な場面>重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診し薬局を訪問する時や、重症化リスクの高い方が多く生活・入院する社会福祉施設等(高齢者、児童、障害者等が集団で生活又は利用する社会福祉施設、介護老人保健施設等をいう。以下同じ。)や医療機関などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。

・そのほか、重症化リスクの高い方が急性呼吸器感染症の流行期に混雑した場所に行く時は、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。